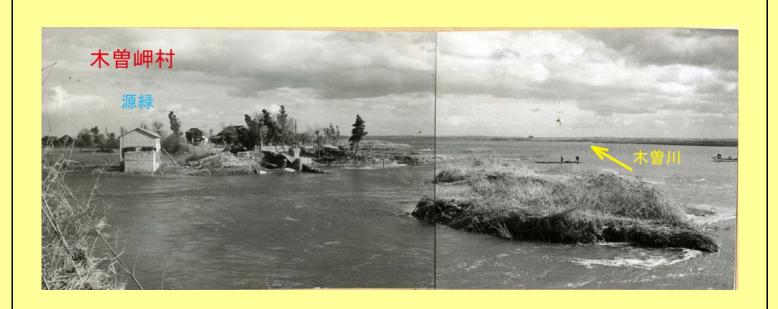
## 伊勢湾台風写真台帳



写真名称: 木曽岬村源緑の木曽川左岸の破堤箇所を上流側から望む(1)

三重県 エリア:

撮影箇所: 木曽岬村

撮影日: 1959年

撮影者: 旧建設省

資料提供者: 木曽川下流河川事務所

状 況:

## 撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用

## 現地状況、コメント等

伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのも のとされている。

木曽川左岸1.8k附近源緑地先の様子である。破堤箇所は、樋管が あったとされている。

踏査時の調査表には以下のように整理されている。

<10月14日 災害状況調査表>

- ●堤防の様子/前面状況:よし・洲、嵩上げ堤か:嵩上げ堤、旧堤 部はどうか:破堤、法線方向:北北西、道路を兼用しているか: 兼用、水防状況:不可能
- ●溢流しているか/その時刻: ⇒20 時~20 時 30 分、溢流深(波立): ≒1.0m
- ●波の来た方向/しぶきがこしたか:こした、その高さ:≒2m以
- ●木の傾いている方向:北北東、何度位(地面に対し):60°、樹 種:マツ
- ●木の倒れている方向:北北東、根入深さ:1.0m、木の太さ:≒0.2 m、樹種: もく
- ●電柱が傾いている方向/北東、何度位:40°、電線がついている か:ついていない
- ●草がねていたか/その方向:北北東、場所:法面、大きさ:1.0  $\sim$ 1.5m
- ●灌木は残っているか:残っている、大きさ:2~2.5m ●堤内地の家の壊れ方/壁、屋根、柱:流失全滅